

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		ご入居様の高齢化による身心の状況の変化に直接介護しているスタッフが専門職としての目で気づくことができるようスキルアップする。	資格取得に挑戦し、介護保険法・高齢者福祉法等の法律を学ぶ。知識・技量を豊かにし適切な援助ができつようにす。特に急変時の対応については個々のスキルを要するため、勉強会等に参加する。	施設全体の研修会等に参加し、必要なスキルを身につける。グループホームの勉強会等を開催し、個々の不安な点の確認をし、情報の共有を図る。	6～12ヶ月
2		看取りについては、ご家族の同意書までは頂いていないが、運営推進会議等でどのご家族にも周知できるようにする。	スタッフに看取りの実施について、周知を徹底し勉強会を重ね、穏やかな気持ちで対応できるよう準備をする。	グループホームの勉強会或いは本体での経験等を実際聞きながら知識を深め、心の準備をしていく。大往生して亡くなることの尊い事を理解していく。	6ヶ月
3		災害時の対策について、地域の住民にも声をかけさせて頂いたが、残念ながら参加者はいりしなかった。	根気よく地域に参加の声掛けをしていく。また参加していただけるようなアイデアを考えしていく。	施設全体で、バザー等の模様し物をした後、避難訓練等を行ってみる。地域の方が参加しても良いと思う様な取り組みを行って見る。	6～12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。